

平成19年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	80	学校名	県立並木高等学校				課程	全日制			学校長名	大山 清				
教頭名	宮本憲二 野口 眞									事務(室) 長名	石塚とし					
教職員数	教諭	55	養護 教諭	1	常勤 講師	3	非常勤 講師	7	実習教諭, 実習講 師, 実習助手	1	事務職 員	5	技術職 員等	3	計	75
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	140	180	130	188	138	178			408	546	24				
	科															

2 目指す学校像

1. 未来を切り拓く人材を育成する学校
2. 生徒一人ひとりを大切にした教育を推進する学校
3. 地域に信頼され、夢を提供する学校
4. 新しい中等教育学校づくりを目指す学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項目	現 状 分 析	課 題
進学指導	国公立大学への進学を希望していながら、自己理解や進路に関する意識の低い生徒が見られる。また、学習意欲が乏しく、学習の習慣が身に付いていない生徒も見られる。	自分の進路を考えさせると共に、より高い進学希望を実現するための指導。 自学自習の習慣化や学習意欲を高める授業の工夫改善・個別指導の更なる展開。
生徒指導	挨拶・服装はかなり改善されたが、規則正しい生活習慣が身に付いていないため遅刻する生徒が若干見受けられる。また、自転車通学のマナー遵守が徹底されていない。	遅刻防止指導の徹底と安全教育、自己防衛意識の高揚と自己管理教育の推進。
特別活動	生徒会役員や各行事の中心となる実行委員の意識は高いが、一般生徒の実行委員希望者が減少傾向にあり、参加への意欲が多少低くなってきているように見受けられる。	特別活動の重要性を理解させ、部活動加入率を高める。 生徒の自主的活動を促す指導。

4 中期的目標

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒の学習意欲を高め、理解を深める指導内容の研究と授業方法の工夫改善に努め、学力の向上を図る。 2. 人としての生き方を学ばせると共に、個々の生徒に応じた進路指導を推進し、進路希望の実現を図る。 3. 基本的な生活習慣を確立させ、道徳心や協調性を養成し、すこやかな心と体を育む。 4. 生徒会・部活動・学校行事の活性化を図り、生徒の個性を発見し、伸ばす教育活動を推進する。 5. 保護者・関係機関との連携を図り、自己防衛意識と自己管理能力を高める安全教育を推進する。 6. 環境の整備と校内美化を推進すると共に、ボランティア活動への意識を高める。 7. 授業・学級経営・事務処理等における情報交換や自作書式の共有化を図り、ITの活用を推進する。 8. 教育相談室やスクールカウンセラーの有効利用と、保護者も含めた教育相談の推進を図る。 9. 教育活動についての情報を積極的に公開し、保護者・地域住民との連携強化を図る。 10. 学校運営の組織や体制の研究・点検を進め、効率的な組織化、機能的で効果的な指導体制の確立を図る。 11. 中等教育学校の開設に向けて、組織的研究と共通理解の深化を図る。 |
|--|

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1. 学力の向上	<ol style="list-style-type: none"> ① 学習意欲を高め、学習方法を確立させ、家庭学習の習慣化を図る。 ② 授業の公開や研究に取り組み、指導の工夫改善を図り、指導力を高める。 ③ センター試験校内平均を全国平均以上にする。
2. 進路希望の実現	<ol style="list-style-type: none"> ④ 個人面談を重視し、個々の生徒に応じた進路指導を行う。 ⑤ 進学ガイダンスを充実させ、多様な情報の提供に努める。 ⑥ 職業観・勤労観を育成し、社会に役立つ生き方を考えさせる。
3. すこやかな心と体を育む	<ol style="list-style-type: none"> ⑦ 生活指導を通して基本的な生活習慣を確立させる。 ⑧ HR活動や部活動を通じて、仲間を思いやり、自己を律する心を養う。 ⑨ 生徒会活動への一般生徒の参加意欲を高める。 ⑩ 安全教育を推進し、自己防衛意識と自己管理能力を高める。
4. 中等教育学校開設準備	<ol style="list-style-type: none"> ⑪ 情報収集及び研究に努める。 ⑫ 全職員共通理解と校内体制の整備に努める。 ⑬ 保護者・地域への情報提供に努める。